

第 69 回構造工学シンポジウム プログラム

本シンポジウムは、構造工学論文集 Vol.69A への掲載論文・報告・総説を中心としたシンポジウムを開催することによって、産・官・学、各界の研究者・技術者に学术交流・技術交流の場を提供し、構造工学の一層の発展を目的としたものです。土木部門と建築部門それぞれの一般講演のほか、特別講演および土木・建築合同のパネルディスカッションを実施します。

1. 主催 日本学術会議土木工学・建築学委員会
2. 共催 土木学会, 日本建築学会
3. 開催日 2023年4月15日(土)～16日(日)
4. 会場 東京工業大学大岡山キャンパス(一般講演:対面開催,特別講演およびパネルディスカッション:対面・オンラインハイブリッド開催予定)
5. 参加費 無料,参加自由
6. 開会式
日時:2023年4月15日(土)15:00～15:10
会場:東京工業大学大岡山キャンパス西9号館デジタル多目的ホール
(対面・オンラインハイブリッド開催予定)
挨拶:米田雅子(日本学術会議第三部副部長/土木工学・建築学委員会,東京工業大学)
前川宏一(日本学術会議/土木工学・建築学委員会,横浜国立大学)
司会:中村聖三(土木学会構造工学論文集編集小委員会委員長/長崎大学大学院工学研究科・教授)
7. 日本学術会議土木工学・建築学委員会の2019年提言と実大免震試験機の実現について
日時:4月15日(土)15:10～15:25
会場:東京工業大学大岡山キャンパス西9号館デジタル多目的ホール
(対面・オンラインハイブリッド開催予定)
発表者:高橋良和(京都大学工学研究科・教授)
竹内徹(東京工業大学理工学研究科・教授)
司会:中村聖三(前掲)
8. 特別講演会
日時:2023年4月15日(土)15:25～16:25
会場:東京工業大学大岡山キャンパス西9号館デジタル多目的ホール
(対面・オンラインハイブリッド開催予定)
講師:森久保 司(国土交通省 水管理・国土保全局治水課流域治水企画官)
タイトル:「2050年カーボンニュートラルに向けた建設分野の取組」
司会:中村聖三(前掲)
9. 土木・建築合同パネルディスカッション
テーマ:「カーボンニュートラルと構造工学」
日時:2023年4月15日(土)16:30～18:00
会場:東京工業大学大岡山キャンパス西9号館デジタル多目的ホール
(対面・オンラインハイブリッド開催予定)
主旨説明:中村聖三(前掲)
(主旨)

近年、地球の平均気温の上昇が一因と考えられる異常気象が世界で発生し、我が国においても激甚な豪雨・台風災害や猛暑が頻発している。平均気温の長期的な上昇傾向を抑えるためには、温室効果ガスの排出を実質ゼロにすることが必要とされており、我が国は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを2020年10月に宣言した。温室効果ガスは経済活動・日常生活に伴い様々な場面で排出されるため、カーボンニュートラルの実現に向けて、温室効果ガスの排出と吸収の実態を理解し、あらゆる主体が効果的に取り組むことが求められている。

土木・建築分野においては、施工時の温室効果ガス排出量の削減の他、個別資材の製造時や建設された施設の運用時における温室効果ガスの排出量削減・吸収、再生可能エネルギー関連施設の建設等を通して、脱炭素化への幅広い貢献が期待される。国や企業、大学において脱炭素技術の開発や制度・基準の制定などの取り組みが本格化している。

第 69 回目となる今回のシンポジウムの特別講演会とパネルディスカッションは、カーボンニュートラルに向けた構造工学分野における取り組みに焦点を当てる。カーボンニュートラルに関する国の取り組みや考え方の他、環境に配慮した材料の活用や再利用、再生可能エネルギーの活用にもつなげた技術開発などの構造工学分野における最新の状況を理解し、カーボンニュートラルに今後どのように取り組んでいけばよいか考える場としたい。

なお、特別講演に先立ち「日本学術会議土木工学・建築学委員会の 2019 年提言と実大免震試験機の実現について」と題して日本学術会議土木工学・建築学委員会からの情報提供をする。

パネリストおよび講演：

- ・ 鋼橋の再利用，カーボンニュートラルに向けて
春日井俊博（日本橋梁建設協会）
- ・ 鉄鋼部材リユースの可能性
岡崎太一郎（北海道大学 教授）
- ・ 洋上風力発電における構造工学の役割
藤山知加子（横浜国立大学 教授）
- ・ 木材を用いた建築物の世界的潮流
五十田博（京都大学生存圏研究所 教授）

司会：長山智則（土木学会構造工学論文集編集小委員会幹事長，東京大学）

吉敷祥一（日本建築学会構造工学論文集編集小委員会幹事，東京工業大学）

10. 問い合わせ先（事務局）土木学会研究事業課 岡崎寛輝

(E-mail okazaki@jsce.or.jp)

なお、本シンポジウムは土木学会 CPD プログラムに認定されています。

単位取得ご希望の方は、100 文字以上のレポートを参加聴講日中にご回答ください。

詳細は、参加申込締切後の案内メールにてご連絡致します。

(認定番号 4 月 15 日：JSCE23-0219, 4 月 16 日：JSCE23-0220)

第69回構造工学シンポジウム（土木部門）プログラム

| | 第1会場 デジタル多目的ホール | 第2会場 W9—3 2 5 講義室 | 第3会場 W9—3 2 4 講義室 | 第4会場 W9—3 2 6 講義室 |
|--------------------------------------|---|---|---|---|
| 4月15日 (土) | 緊急仮設橋(設計・運用 基準などの課題・提言) 9:30~10:30 座長:北原武嗣 (関東学院大学) | 構造動力学・振動・ 風工学(1) 9:15~10:30 座長:八木知己 (京都大学) | 鋼構造・橋(1) 9:15~10:30 座長:宮寄靖大 (大同大学) | 合成・複合/木構造・橋 (1) 9:15~10:30 座長:池田学 (鉄道総合技術研究所) |
| | 緊急仮設橋(実事例 と今後の適用性) 10:45~12:00 座長:全邦釘 (東京大学) | 構造動力学・振動・ 風工学(2) 10:45~12:00 座長:小幡卓司 (北海学園大学) | 鋼構造・橋(2) 10:45~12:00 座長:田村洋 (横浜国立大学) | 合成・複合/木構造・橋 (2) 10:45~12:00 座長:藤山知加子 (横浜国立大学) |
| | 休憩 12:00~13:00 | | | |
| | | 構造安定・耐荷力・ 構造一般(1) 13:00~14:15 座長:松村政秀 (熊本大学) | 鋼構造・橋(3) 13:00~14:30 座長:内田大介 (法政大学) | コンクリート構造・橋(1) 13:00~14:30 座長:林和彦 (香川高等専門学校) |
| | 【第1会場】開会式 15:00~15:10 | | | |
| | 【第1会場】日本学術会議土木工学・建築学委員会の2019年提言と実大免震試験機の実現について 15:10~15:25 | | | |
| | 【第1会場】特別講演会 15:25~16:25 | | | |
| 【第1会場】土木・建築合同パネルディスカッション 16:30~18:00 | | | | |
| 4月16日 (日) | 地震工学・構造物の耐震 9:00~10:30 座長:藤倉修一 (宇都宮大学) | 構造安定・耐荷力・ 構造一般(2) 9:15~10:30 座長:北根安雄 (京都大学) | 鋼構造・橋(4) 9:00~10:30 座長:田井政行 (琉球大学) | コンクリート構造・橋(2) 9:15~10:30 座長:三木朋広 (神戸大学) |
| | 若手構造技術者 連絡小委員会 ポスターセッション 「次世代構造技術者の Work in Progress」 11:30~15:00 (表彰式 15:00~15:15) | 衝撃・衝突・爆発(1) 10:45~12:15 座長:別府万寿博 (防衛大学校) | 鋼構造・橋(5) 10:45~12:15 座長:小林裕介 (鉄道総合技術研究所) | コンクリート構造・橋(3) 10:45~12:00 座長:松崎裕 (防衛大学校) |
| | | 衝撃・衝突・爆発(2) 13:15~15:00 座長:小室雅人 (室蘭工業大学) | 設計工学・計算力学 13:15~15:00 座長:中畑和之 (愛媛大学) | コンクリート構造・橋(4) 13:15~14:30 座長:田中泰司 (金沢工業大学) |

講演1件当たり, 発表10分, 質疑5分の計15分

次頁以降で, ○は講演予定者を, *は報告を, **は委員会報告を示す。

第1日：4月15日（土）

第1会場：デジタル多目的ホール

9:30～10:30 緊急仮設橋（設計・運用基準などの課題・提言）

座長：北原武嗣（関東学院大学）

(9-1) **応急組立橋の使用状況調査及び緊急仮設橋の基準整備に向けた提言

○中沢正利，小野秀一，近広雄希，木下幸治

(9-2) **防災・減災のための緊急仮設橋の設計および設計基準の課題

○渡邊学歩，佐々木貴信，森田千尋，小林博之，勝呂翔平，松田伊佐雄，木下幸治

(9-3) **戦後の応急組立橋に見る要求性能の変遷と課題

○近広雄希，有尾一郎

(9-4) **豪雨災害から学ぶ緊急仮設橋の要求性能と緊急運用についての提案

○平池勉，有尾一郎，近広雄希，森本真一，佐々木貴信

10:45～12:00 緊急仮設橋（実事例と今後の適用性）

座長：全邦釘（東京大学）

(9-5) **Bailey Bridge の仮設・恒久的利用の国内外事例調査に基づく恒久利用に向けた枠組み

○木下幸治，近広雄希，河村進一，熊田哲規，武中純一，藤田博行，中沢正利

(9-6) **水管橋被害に対する緊急仮設橋の活用に向けた一検討

○森本真一，近広雄希，有尾一郎

(9-7) **令和元年台風19号による千曲川流域の橋梁被害と関心度の変化

○近広雄希，小野秀一

(9-8) **令和2年7月豪雨で被災した球磨川橋梁群に見る今後の対策

○加藤真吾，渡辺浩，富岡仁計，藤田博行

(9-9) **軽量材料の緊急仮設橋への適用性

○平沢秀之，小野秀一，中村繁央，岩丸弘，大久保宣寿，青柳有輝

第1日：4月15日（土）

第2会場：W9—325講義室

9:15~10:30 構造力学・振動・風工学（1）

座長：八木知己（京都大学）

(4-1) Effect of side-surface openings on the torsional flutter instability of a rectangular cylinder

○Pham Thi Lien Thuc, Jiaqi Wang, Hiroshi Katsuchi

(4-2) Experimental investigation on aerodynamic instabilities of a cable-stayed bridge with an edge girder using a full bridge aeroelastic model

○Jiaqi Wang, Hiroshi Katsuchi, Akira Imai, Yasuhide Noda, Noriyoshi Sato, Takashi Kozakai, Tatsuya Iida

(4-3) 実規模試験線での長期観測に基づくルーズスペーサのギャロッピング抑制効果の検証

○垂石早紀, 松宮央登

(4-4) レール継目を有する鋼鉄道橋りょうの列車通過時動的応答の実測

○徳永宗正, 北川晴之, 池田学

(4-5) 高速列車通過時における鋼トラス橋動的応答のモード寄与

○北川晴之, 徳永宗正, 渡辺勉, 池田学

10:45~12:00 構造力学・振動・風工学（2）

座長：小幡卓司（北海学園大学）

(4-6) EFI 法により最適化したセンサ配置を用いた鋼桁橋のベイズ異常検知

尾中貴輝, ○金哲佑, 五井良直, 河邊大剛

(4-7) 実測結果に基づくスラブ軌道を有する高速鉄道 PC 箱桁橋の床版部材加速度評価

○四井陽貴, 松岡弘大, 貝戸清之, 後藤恵一

(4-8) 局部振動モードに基づくベルトコンベア支持構造物部材の耐荷力推定

○小川大智, 楊曜華, 長山智則, 加藤宗, 久積和正, 富永知徳

(4-9) 部分模型風洞試験の重ね合わせによる変断面箱桁橋の渦励振評価の検討

○勝地弘, 清水勇作, 王嘉奇

(4-10) 多径間連続斜張橋における橋軸 A 型主塔の耐風性検討

○杉山裕樹, 平山靖之, 松浦雅史, 八木知己

13:00~14:15 構造安定・耐荷力・構造一般（1）

座長：松村政秀（熊本大学）

(1-1) 軌道検測車で測定した通り変位波形に基づくロングレールの実用的な座屈発生温度の推定法

○玉川新悟, 山岡大樹, 西宮裕騎

(1-2) フリクションシムを挿入した異種接合面高力ボルト継手の荷重伝達性能評価

○河村竜汰, 和暢, 田村洋

(1-3) トポロジー最適化技術を用いた仮設ブラケットの設計及び評価

○北田幸夫, 黒川貴大, 長崎怜, 松村寿男, 中村将章, 加藤準治

(1-4) L 形隅角部に配置した隅角部補強ユニットと主鉄筋との接続部における応力伝達に関する実験的検討

○渡部孝彦, 武田均, 佐藤靖彦

(1-5) 冷間曲げ加工を施した SBHS400 の材料特性と R 付き箱形断面短柱の軸圧縮挙動に関する研究

○山崎諒介, 北爪大貴, 竹嶋夏海, 岡田誠司, 穴見健吾, 宮下剛, 小野潔

第1日：4月15日（土）

第3会場：W9—324講義室

9:15~10:30 鋼構造・橋（1）

座長：宮壽靖大（大同大学）

(5-1) 繰り返し塑性履歴を受けるH形鋼の構成則およびその適用

○海老澤健正, 野中哲也, 吉野廣一, 馬越一也, 山田忠信

(5-2) 支承交換におけるジャッキアップ時の応答を踏まえた補剛材設計手法の考察

○門田峰典, 宮森保紀, 齊藤剛彦

(5-3) 多機能突起リブを有する鋼コンクリート合成床版を適用した連続合成桁の中間支点部における力学特性

○岩田幸三, 中川翔太, 甲木里沙, 小枝芳樹, 松井繁之, 東山浩士

(5-4) 水平リブの有無と長さを変化させた高力ボルト非突出型エンドプレート接合の載荷実験

○杉本悠真, 山口隆司

(5-5) 繰り返し荷重下における鋼輪型拘束材（SRR）の挙動及び復元力モデルの構築に関する研究

浅野拳斗, 孫巨搏, ○葛漢彬, 劉敵, 王占飛

10:45~12:00 鋼構造・橋（2）

座長：田村 洋（横浜国立大学）

(5-6) 高力ボルト摩擦接合継手のすべり試験実施時期とすべり係数算定軸力の考察

○南邦明

(5-7) 締付け軸力と試験前軸力の違いが高力ボルト摩擦接合継手の無機ジンクリッチペイントのすべり抵抗特性に与える影響

○佐倉亮, 杉本悠真, 酒井武志, 山口隆司, 北根安雄, 三ツ木幸子

(5-8) *27年供用した高力ボルト摩擦接合継手の残存軸力とすべり耐力に関する1考察

○頼健鵬, 佐倉亮, 山口隆司

(5-9) *F10TM30高力ボルトに適用するナット回転法および降雨時締付けに関する基礎的検討

○網谷岳夫, 内田大介, 平野雄大, 豊原匡織

(5-10) 拡大孔・長孔を有する高力ボルト摩擦接合継手のすべりおよびすべり後挙動に関する解析的検討

○堀井いずみ, 山口隆司, 小西日出幸, 亀崎誠志, 豊田雄介

13:00~14:30 鋼構造・橋（3）

座長：内田大介（法政大学）

(5-11) 環境に配慮した新しい高力ボルトの開発

○吉元大介, 山口隆司, 鄒瑩, 飯野元

(5-12) ウェブ継手のボルト配置が高力ボルト摩擦接合鋼桁連結部の協働すべり挙動に及ぼす影響に関する解析的検討

○佐倉亮, 山口隆司

(5-13) 添接部に当て板した継手の分担軸力の評価

○竹内太一, 水谷壮志, 石川敏之

(5-14) 曲げを受ける鋼I桁下フランジの当て板補修における荷重分担に関する実験的研究

○福辻菜絵, 山口隆司, 豊田雄介, 小山雅己, 水内将司

(5-15) 頭部に模擬腐食損傷を有するリベット継手の引張実験

○秦子策, 森山仁志, 否笠弘実, 松村政秀

(5-16) 高周波誘導加熱を用いたリベット施工技術に関する研究

○長坂康史, 穴見健吾, 判治剛, 野坂克義, 竹渕敏郎

第1日：4月15日（土）

第4会場：W9—326講義室

9:15~10:30 合成・複合／木構造・橋（1）

座長：池田学（鉄道総合技術研究所）

(7-1) 経年による鋼ボールジョイント型木製トラス歩道橋の振動使用性と健全度

○加藤真吾, 本田秀行, 豊田淳, 渡辺浩

(7-2) GFRP 溝形部材のせん断強度評価に関する実験的研究

○橋本国太郎, 新居大知, 中村一史

(7-3) CFRP スtrandシートを接着した鋼管の曲げ試験

○水谷壮志, 石川敏之, 秀熊祐哉

(7-4) ポリマーセメントモルタル接着 BFRP グリッドーコンクリート界面の付着性状に関する実験的研究

○岩下健太郎, 呉智深, 黄黄

(7-5) *鎮火後の合成桁橋のずれ性状とひび割れ密度の関係に関する基礎的検討

○野上雄暉, 高橋佑介, 今川雄亮, 大山理

10:45~12:00 合成・複合／木構造・橋（2）

座長：藤山知加子（横浜国立大学）

(7-6) *輪荷重走行試験による I 形鋼格子床版の疲労耐久性の再評価

○水上繁樹, 大中英樹, 酒井武志

(7-7) I 形鋼格子床版の疲労耐久性の再評価と疲労損傷に関する一考察

高須賀丈広, ○村上和也, 船水洋輔, 熊野拓志, 酒井武志, 杉浦邦征

(7-8) Numerical analysis on negative flexural behavior of steel-concrete composite deck with DFT connectors

○Yiming Hu, Kazuya Murakami, Takehiro Takasuka, Takuji Kumano, Kunitomo Sugiura

(7-9) 鋼板接着補強 RC 床版の疲労耐久性および樹脂再注入による補修効果に与える剥離率と水の影響

○関口幹夫, 前田洋平, 今吉計二

(7-10) 鋼コンクリート複合構造を模擬した試験体における散乱型 RI 測定装置の結果の評価に関する実験的検討

○神頭峰磯, 瀬古繁喜, 池永太一

13:00~14:30 コンクリート構造・橋（1）

座長：林和彦（香川高等専門学校）

(6-1) 雪国タイプの伸縮装置を設置した RC 床版の輪荷重走行疲労実験による耐疲労性の評価および構造特性

阿部忠, ○佐々木茂隆, 水口和彦, 野口博之, 深水弘一

(6-2) アルカリシリカ反応で劣化したコンクリートの圧縮破壊性状に関する基礎的研究

○松井淳史, 伊藤始, 山岸祥希

(6-3) 静的破砕剤による各種形態と損傷度を有する模擬腐食ひび割れの生成法の提案

中村光, ○戸本悟史, 松永輝, 杉山風雅, 三浦泰人, 辻健斗

(6-4) 過剰たわみが生じた東名高速道路跨道橋の原因推定と安全性評価

○吉野通範, 菊地新平, 若月健司, 千々和伸浩

(6-5) PC 橋の広帯域 AE センサを用いた PC 鋼材破断検知と健全度評価に関する研究

○豊田雄介, 橋本雅行, 小野秀一, 榎園正義

(6-6) LOF 及び k 近傍法による RC 梁の損傷判定における周波数帯域の影響の検討

○森藤優一, 黒田一郎

第2日：4月16日（日）

第1会場：デジタル多目的ホール

9:00～10:30 地震工学・構造物の耐震

座長：藤倉修一（宇都宮大学）

(3-1) 道路橋に用いられていたBP-A支承の水平力作用時の挙動

○張広鋒，神田信也，矢部正明，時田英夫，朝倉康信

(3-2) BP-A支承の腐食度の違いが水平・回転変形追随性能および下フランジに発生する水平力に及ぼす影響

○平岡葵，林徹，山口隆司

(3-3) 丸鋼を用いた超低鉄筋比RC構造物の繰返し挙動の把握および付着すべりモデルの適用性検証

○松岡賢樹，青坂優志，大坪祐介，有光剛，杉本啓太，柴山淳，西内達雄，内田諭，中西泰之，中村光

(3-4) 要素破壊時変位を用いた破壊解析手法による無補剛箱形断面鋼製橋脚の延性き裂発生・進展評価法に関する一検討

池尾光慶，劉巖，○葛漢彬

(3-5) *微動計測装置を用いた貯水槽のバルジング固有振動数の推定

○齊藤崇，小野泰介，池田直生，平野廣和，佐藤尚次

(3-6) 等価剛性を用いた継手式埋設管の継手部変位量の算定法

○鈴木崇伸

第2日：4月16日（日）

第2会場：W9—325講義室

9:15～10:30 構造安定・耐荷力・構造一般（2）

座長：北根安雄（京都大学）

(1-6) 既設橋評価のための実態交通荷重を考慮した活荷重係数に関する研究

○笠松徹，奥井義昭，木村正志，狩野亮太，佐久間智，時田英夫

(1-7) 繰り返し荷重を受ける複合ブレース材システムの実験と解析

○浅野拳斗，宇佐美勉，葛漢彬，渡辺孝一

(1-8) CFRP を用いた津波対策工法による小型石油タンクの影響軽減の評価と検証

○保延宏行，藤井直樹，サッパシー・アナワット，今村文彦

(1-9) ステンレス鉄筋を用いた RC はりのせん断耐荷機構に関する実験的検討

○小林巧，竹内彩，石田雅博

(1-10) 杭体補強を有するソイルセメント複合杭の引抜き抵抗に関する研究

○古賀翔平，渡邊康司，山本忠久

10:45～12:15 衝撃・衝突・爆発（1）

座長：別府万寿博（防衛大学校）

(8-1) 中立軸位置に緊張材を配したプレテンション PC 梁の単発および繰り返し衝撃荷重下の動的挙動に関する実験的研究

○玉井宏樹，徳永和也，園田佳巨

(8-2) 緩衝ゴムを設置した静的に剥離破壊型で終局に至る AFRP シート接着曲げ補強 RC 梁の衝撃荷重載荷時破壊性状に関する実験的検討

○鈴木健太郎，小室雅人，瓦井智貴，岸徳光

(8-3) 衝撃荷重作用時にシート破断で終局に至る載荷点部に緩衝ゴムを設置した AFRP シート接着曲げ補強 RC 梁の耐衝撃挙動に関する実験的検討

○瓦井智貴，小室雅人，岸徳光，鈴木健太郎

(8-4) ポケット部に緩衝材を有する落石防護土堤への実規模落体衝突実験

○磯合凌弥，前田健一，牛渡裕二，中村拓郎，木村絢

(8-5) 根入れ深さを变化させた実規模落石防護柵支柱の衝撃荷重載荷実験

○林茂樹，小室雅人，岸徳光，瓦井智貴，近藤里史，竹内観月

(8-6) 落石防護擁壁の押抜きせん断耐力の評価方法に関する基礎的検討

○山澤文雄，中村拓郎，畠山乃，小室雅人，岸徳光

13:15～15:00 衝撃・衝突・爆発（2）

座長：小室雅人（室蘭工業大学）

(8-7) 個別要素法を用いたひし形金網の衝突荷重推定法への試み

小泉香那子，○堀口俊行，有田毅，杉本雅一，岡本隆宏

(8-8) 透過型砂防堰堤に作用する土石流荷重に与える滑動現象の影響

○宮原邑太，堀口俊行，竹家宏治，萬徳昌昭

(8-9) 張出しタイプを付与した既設不透過部に作用する土石流荷重の検討

渡邊大貴，○堀口俊行

(8-10) 砂と EPS で構成される緩衝層を有する鉄筋モルタル梁の近接爆発実験

○市野宏嘉，別府万寿博，東原健一，原口望，大城戸秀人

(8-11) 接触および近接爆発を受ける RC はりの損傷状態に関する実験的考察

○寺澤拓真，別府万寿博，市野宏嘉，松崎裕

(8-12) 接触爆発を受ける繊維補強 PFC パネルの耐爆性に関する実験的研究

○別府万寿博，河野克哉，岸良竜，溝口愛実，市野宏嘉

(8-13) *超過洪水時における河川洪水流が橋梁上部工の流出に与える影響

○原田紹臣，里深好文

第2日：4月16日（日）

第3会場：W9—324講義室

9:00~10:30 鋼構造・橋（4）

座長：田井政行（琉球大学）

(5-17) 面外ガセット溶接継手の疲労き裂に対するき裂進展解析手法の適用性に関する一考察

○倉林拓矢，村越潤，木ノ本剛，澤田守，大西達也

(5-18) Numerical investigation of fatigue crack propagation behavior in trough-girder bridges

○Teuku Habil Putra, Takeshi Hanji, Kazuo Tateishi, Masaru Shimizu, Makoto Yamaguchi, Yuuichirou Niwa

(5-19) 鋼橋ソールプレート溶接部の発生応力推定に関する解析的検討

○丹羽雄一郎，館石和雄，判治剛，清水優

(5-20) 高速道路標識柱の疲労耐久性評価法の検討

○有馬直秀，糸島史浩，今井大樹，山田健太郎

(5-21) ピーニング処理された溶接継手の打ち切り限界を有する疲労強度曲線の提案

木下幸治，○阪野裕樹，石川敏之，穴見健吾

(5-22) 片面当て板補修されたストップホールの応力の評価

○石川敏之，菱田空斗，竹内太一，清川昇悟，中辻亘，石井博典

10:45~12:15 鋼構造・橋（5）

座長：小林裕介（鉄道総合技術研究所）

(5-23) *阪神高速道路における点検時簡易補修の現状と課題

○安藤翠，貝戸清之，四方滉也，坂根英樹，加賀山泰一

(5-24) 局所振動による超音波の振幅変化を利用した疲労き裂の非破壊検出の試み

川崎藍流，小野寺慧，丸山泰蔵，高橋学，勝田順一，○中畑和之

(5-25) 実物大標識柱室内実験における振動データを用いた疲労き裂検知の検討

○市川凌大，五井良直，河邊大剛，高瀬和男，足立幸朗，杉浦邦征

(5-26) 複合応力下における接着強度の評価のための簡易な試験装置の製作とその適用検討

○清野久美子，中村一史，タイウィサル，堀井久一

(5-27) 点群データを活用した鋼橋の解析モデルの構築および精度検証

○日高菜緒，橋本尚史，中村真貴，馬越一也，野中哲也，小畑誠

(5-28) 影響線に基づく支承部の回転ばね定数の推定に関する基礎研究

○丸山晃平，吉田郁政，関屋英彦

13:15~15:00 設計工学・計算力学

座長：中畑和之（愛媛大学）

(2-1) 断面欠損を有する鋼板の弾性座屈荷重の推定

○水谷壮志，楊悦，石川敏之

(2-2) *鋼部材破壊解析における要素破壊時変位と不均一比関係式の一般性の検討

池田修斗，劉巖，○葛漢彬

(2-3) 道路橋床版の設計曲げモーメントに関する検討 —床版の支間方向が車両進行方向に直角な場合—

○東山浩士，久保圭吾，大久保宣人，桐川潔

(2-4) 局所損傷を有する構造物のデータ同化性能評価に向けた画像ひずみ分布計測の適用性検討

○佐藤開，西尾真由子

(2-5) ひび割れの点検情報に基づく鋼材質量減少率の空間分布を考慮した限界状態確率の評価

○中村朋佳，富澤幸久，鈴木修一，吉田郁政

(2-6) 応急塗装を考慮した部分塗替え塗装のコスト縮減効果に関する検討

○川又宗近，原田隆郎

(2-7) 掘込河道を渡河する橋の流失可能性評価のケーススタディと流失対策に関する考察

○岡田太賀雄，白戸真大

第2日：4月16日（日）

第4会場：W9—326講義室

9:15~10:30 コンクリート構造・橋（2）

座長：三木朋広（神戸大学）

(6-7) 鉄筋腐食した RC 梁部材の NN を用いた打音による腐食率推定に関する基礎的研究

○福井智大, 黒田一郎

(6-8) 塩害により PC 鋼材が腐食した PC 橋の耐荷性能評価における設計式の適用限界に関する検討

○小野聖久, 下峠康宏, 田中泰司, 萩原直樹, 長田光司

(6-9) 損傷等級と劣化要因の因果関係に関する Bayesian Network 構築とそれを用いたコンクリート系床版の劣化因子の推定

○宮川輝幸, 中村聖三, 西川貴文

(6-10) *Full-scale experiment and FE analysis of Precast Concrete Formwork for application to bridges with concrete girders

○Daniel Apenyo, Yuta Sakurai, Toshio Matsumura, Yasuo Ito, Hirotatsu Ito, Minoru Kunieda

(6-11) *蒸気養生を行って製造される大断面プレキャスト部材の温度応力解析

○角田貴也, 櫻庭浩樹, 古賀裕久, 高松芳徳, 井上幸一

10:45~12:00 コンクリート構造・橋（3）

座長：松崎裕（防衛大学校）

(6-12) 高強度繊維補強モルタルとネジ節鉄筋の付着性能に着目したプレキャスト床版接合部の曲げ載荷実験

○池野勝哉, 倉川義弘, 水野剣一, 岩城一郎

(6-13) 引張力を受ける重ね継手の耐荷機構に関する解析的研究

上田尚史, ○山下夢来生

(6-14) 機械式コッター式継手を有するプレキャスト PC 床版の押抜きせん断耐荷力

○渡邊輝康, 野口利雄, 服部翼, 榎駿介, 本荘清司, 松井繁之

(6-15) 曲げモーメントに着目した L 形 RC 部材接合部の耐力算定方法

○村田裕志, 渡部孝彦, 渡辺健, 中田裕喜

(6-16) *あき重ね継手を有する扁平 RC はりのあき寸法や継手長が破壊性状に及ぼす影響

○田中魁虎, 栗橋祐介, 大西リリカ, 榎谷浩

13:15~15:00 コンクリート構造・橋（4）

座長：田中泰司（金沢工業大学）

(6-17) 有限要素解析での RC 部材のせん断損傷過程評価のための変位指標の検討

○島端嗣浩, 中村光, 河村圭亮, 小松怜史

(6-18) 地盤反力を考慮したケーソン基礎側壁のせん断耐力に関する解析的検討

○中田裕喜, 阿部淳一, 増田智哉, 三浦崇嗣, 戸崎隆之, 中村麻美, 佐名川太亮, 渡辺健, 田所敏弥

(6-19) 伸縮装置を設置した RC はりの静的耐荷力および修正 Goodman の関係式を用いた耐疲労性の評価

阿部忠, 佐々木茂隆, ○野口博之, 水口和彦, 川井豊

(6-20) 石炭ガス化スラグ細骨材を用いた鉄筋コンクリートはりの構造性能に関する検討

○松浦忠孝, 高橋恭涼, 千々和伸浩, 岩波光保

(6-21) *面外荷重が作用する RC 床版の上段鉄筋の振る舞いに関する実験的研究

○横山広, 牧祐之, 栗橋祐介, 榎谷浩

